

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

体を動かす楽しさや心地よさを味わうための ICT 活用 「編集動画を手本にした体づくり運動」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことに苦手意識をもっている。 ・体力(持久力)がなく、一定時間体を動かし続けることができない。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	保健体育
	単元(題材)名	題材名「体づくり運動」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動や律動的(リズムカル)な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自分の体の状態に気付き、体の調子を整えたり、仲間と豊かに交流したりすることができる。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>【iMovieで編集した体づくり運動の動画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行中の動作と次の動作を並べて提示。 ・動作のポイントをテキストで挿入。
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○映像の動きを手本にしながら、見通しをもって一定時間律動的に体を動かし続けることができる。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーインピクチャーの機能を使って、2つの動画を並べて、次の体の動かし方が分かるようにした。 ・音声や文字テロップを入れて、動作のポイントを分かりやすく提示した。 ・残り時間を表示することで見通しをもって最後まで体を動かし続けることができるようにした。 ・動画を使うことで、T1も生徒の補助に入ることができる。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ(iMovie)
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・次の体の動かし方が分かり、見通しをもって体を動かすことができた。体づくり運動に積極的に取り組もうとする生徒が増えた。 ・モニターをよく見て、映像が流れている間は休まず最後まで体を動かし続ける生徒が増えた。 ・家庭などの実生活の場面で動画を見て運動する生徒が出てきた。